



◎ 選挙結果報告

近畿・北陸地方会会則第4条に則り世話人代表選挙が行われました。

第4条:世話人代表は一般社団法人日本看護研究学会近畿・北陸地区選出評議員の中から選出する

2014年7月21日に近畿・北陸地方会選挙管理委員によって選挙開票が行われました。

開票の結果、江川隆子氏〈関西看護医療大学〉が選出されました。

選挙総括

選挙人 1436人
被選挙人 37人
投票総数 418票
有効投票数 414票
(投票率:28.8%)

近畿・北陸地方会の充実発展を目指して —新体制としての展望—

世話人代表 江川 隆子

地方会は開設から30年が経過し、看護研究に関する環境は劇的に変化しています。大学・大学院の激増や看護専門学会の設立もその一つです。これらの多くの大学院や看護専門学会では、積極的にその領域における看護研究の研鑽が行われています。

そこで、本研究会では、これらの個々の領域による研究を充実し活用するため、「看護研究」に関する知識や方法論を地域で広めるだけでなく、各看護専門学会を幅広く繋いでいく役割を持つべきであると考えます。

第28回近畿・北陸地方学術集会:加藤真由美会長の学会テーマ「患者の看護に立ち戻る研究への挑戦」のように、「看護ケア」の開発研究に焦点をあてることも、これからの我々の重要な課題であると考えます。

このような「看護ケア」の開発研究のためには、この地方会を、研究者だけではなく臨床と協働した、活用可能な、「看護ケアに関する実践者の研究・検証」のための知識や方法論を広げる場にしたいと考えます。

その一つとして、各看護専門学会における「看護診断」に関する「看護ケア」の開発と効果検証についても、この地方会で取り上げられることを願っています。

各々の看護研究・研鑽成果を繋いで、
さらに、知識獲得を深め、実践展開を広げていきましょう！



世話人代表 江川 隆子 先生

※就任のご挨拶はホームページに掲載されています

第17号の内容

新体制の展望

世話人代表 江川 隆子

患者の看護に立ち戻る研究への挑戦 (第28回学術集会案内)
学術集会会長 加藤 真由美

第19回 地方会看護研究継続セミナー報告 上野 栄一

第20回 地方会看護研究継続セミナー案内

リレーブログの新たな取り組み
明神 一浩 ・内田 真紀

近畿・北陸地方会 第28回学術集会開催

2015年3月7日(土)

「患者の看護に立ち戻る研究への挑戦」

学術集会会長 加藤 真由美(金沢大学)

メインテーマ「患者の看護に立ち戻る研究への挑戦」の趣旨は、「1人の大切な人」への看護について深求することです。このテーマを掲げた思いは、看護研究を行う本来の意義は、最終的に1人1人の大切な人に看護が還元されることが目的であると信じているからです。

プログラムでは、教育講演は「看護領域でのナラティブ分析法」(宮坂道夫 教授 新潟大学)、シンポジウムでは「看護実践力を育む! 事例検討を素材にした看護研究を通して」(川島和代 教授 石川県立看護大学)、「排泄ケアを通じた個別性ある看護の価値」(湯野智香子 看護師長 国民健康保険小松市民病院)、「ナラティブから生まれるカー精神に病いをもちながら生きる人の体験に添って」(田中浩二 講師 金沢医科大学)を盛り込んでいます。交流集会、一般演題もどうぞお楽しみいただきたいと思います。

会員の皆様には是非演題を登録していただきたくお待ちしております。詳細は、本学会ホームページの第28回近畿・北陸地方会学術集会でご確認ください。

皆様とは3月の春先にお会いすることとなります。春先は兼六園の梅がほころぶ頃です。足を運んでいただければと思います。暖冬であれば、正面玄関の梅とタンポポ(左写真)が皆様をお迎えいたします。皆様にお会いできますこと、とても楽しみにいたしております。

演題登録期間:2014年10月27日(月)~12月20日(土)

事前参加登録募集中



会場:金沢大学保健学類校舎
「金沢大学保健学類校舎構内で咲いたタンポポです。」と、右原稿に同送されました。



第19回 看護研究継続セミナーを終えて

看護研究継続セミナー コーディネーター: 上野 栄一

日本看護研究学会近畿・北陸地方会第19回看護研究継続セミナーが10月18日に富山大学で開催されました。富山ではこれまで、セミナー会場として、高志会館、富山福祉短期大学で開催されていましたが、今回は富山大学医学部看護学科での初めての開催でした。

今回のセミナーでは、参加者は計23名でした。内、会員が17名、非会員が6名でした。また、看護師11名、看護教員12名でした。

第1部講演1では、「量的看護研究に必要な統計学の基礎知識と技術」出口洋二先生（福井大学医学部看護学科教授）の講演がありました。看護研究の歴史をナイチンゲールを紹介しながら研究の大切を力説され、量的研究をすすめる上でのポイントについてわかりやすく説明されました。質的研究と量的研究の違いについても解説され質的研究は継続して量的研究につなげることの重要性について説かれました。

講演2では「質的研究の基礎と応用」長 光代先生（厚生連滑川病院 がん看護専門看護師）の講演があり、質的研究の定義を詳細に説明された後、研究支援をどのように行っているかについて具体的な説明があり、指導のポイントを示しながらわかりやすく説明されました。講演の中でいかにサポートするかの重要性について説かれました。

第2部は、グループワークでした。2つのグループに分かれ、関西からかけつけていただいた、コーディネーターの若村智子委員長、山口曜子先生、私上野をはじめとして、講演者の出口先生、長先生、事務局の下舞先生、役員の明神先生、須永先生、成瀬先生、坪田先生も加わり、活発な意見交換がなされました。

内容としては、研究のテーマの決め方やどのようにアンケートを作成するのかといった質問などがあり活発なグループワークとなりました。参加者からは「とてもわかりやすく説明していただいた」「研究のコツをつかんだようです」「研究は難しそうだがやってみることに価値がある」「いかに検証するかが重要ですね」との感想をいただきました。多くの方が継続セミナーに参加していただくようにPRをしていきたいと思えます。

※過去のセミナー参加者の感想がホームページに掲載されています。ご覧ください。



講師：出口洋二 先生

質的と量的!?
研究手法の活用にも
けて、基礎的知識の
確認!



グループワーク風景

活発な意見交換が
行われました。

第20回 看護研究継続セミナーのご案内

日時：2014年12月20日(土)13時～17時

開催場所：園田学園女子大学

【第1部】講演「実践を研究につなげる、研究を実践に活かす」

山口 曜子 先生(梅花女子大学)、藤原 裕子 先生、瀬尾 悦子 先生、草野 菜緒 先生(みどりヶ丘病院)

【第2部】グループワーク

*この研究会に参加し、研究の原石を輝かせて行きましょう……

申込受付中 12月5日(金)まで

応募方法はホームページをご確認ください

リレーブログの活性化に向けた取り組み

リレーブログを開始してから、今年で3年目となります。落葉の季節となってまいりましたが、皆さま、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

リレーブログをもっと身近に感じて頂けるように、近畿・北陸地方会では、世話人会の先生方に次の順で投稿をお願い致しました。(右図) 様々な話題提供をお願いしていますので、お楽しみください。リレーブログでは、研究に関する各研修会や書籍の紹介をこれまで通り、掲載をしていきます。日本看護研究学会会員であること、近畿・北陸地区の会員であれば、誰でも投稿はできます。このリレーブログを使い会員の情報共有や交流の場となればと考えております。

投稿に際しては、IDやパスワードが必要です。会員の方々は番号をご確認頂き、積極的にご投稿ください。今後とも宜しくお願い致します。

ホームページ編集担当: 明神 一浩 ・ 内田 真紀

2014年度 近畿・北陸地方会 リレーブログへの投稿計画表

投稿予定日	担当者	所属
9月10日頃	若村智子	京都大学
10月10日頃	上野栄一 & 内田真紀	福井大学 & 福井県立大学
11月10日頃	道重文子	大阪医科大学
12月10日頃	水田真由美	和歌山県立医科大学
1月10日頃	加藤真由美 (正源寺美穂)	金沢大学
2月10日頃	河野あゆみ	神戸常磐大学
3月10日頃	明神一浩	富山さくら病院

一般社団法人 日本看護研究学会 近畿・北陸地方会事務局

関西看護医療大学看護学部看護学科

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑1456-4

【庶務担当】

下舞紀美代TEL/FAX:0799-60-1214

E-mail: k.shimomai@kki.ac.jp

【会計担当】

古川秀敏TEL:0799-60-1200(代表)

E-mail: h.furukawa@kki.ac.jp

活動報告を速やかに、今後の予定をいち早くお届けし、リアルタイムで情報共有が出来ることをめざして発行回数や発行時期の調整に努めてきました。紙面でお届けした情報によって、地方会活動への積極的な参加が拡大すれば嬉しく思います。

皆様のご意見ならびにご投稿をお待ちしております。

ニュースレター担当：西菌貞子、坪田恵子